

---

# 奇跡×軌跡

ROCK IMAZIN

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

奇跡×軌跡

### 【コード】

N34930

### 【作者名】

ROCK IMAZIN

### 【あらすじ】

とりあえず初めての投稿作品です。現在14歳受験とかで大変な時期にどんな思いを持っていたのか、それを描きたいと思います。自分が実体験したことや、知り合いの物語を描いていこうと思います！それでは、よろしくおねがいします！( ; ; ) \*ひとつひとつの詩に共通点はないので、「気になるな」と思った題名のついている詩を読んでくれるとうれしいです。

## 色と色

まだ何色にも染まっていけない真っ白の紙に

赤、青、黒それぞれの色をくみあわせる。

まずは赤

真っ赤な赤は恋いの色

次は青

湖の水のように輝く色は未来の色

そして黒

すべてを塗り尽くしてしまうそんな色

その三色を組み合わせる

このさきもし色を感じれなくなったとしたらそれはきっと

すぐくつらい思いをしたとき

この先色を忘れないでいろいろな色が増えていったときは

うれしいことが増えてくとき

どうなっていくかなんてわからない

みんな楽しく笑っていたい

みんな悲しいことなんてやだ

でも

それもあわせてきつといつかいい思い出になる

10年後先かもしれない

けど

笑っていられるときはきつとくる

そのときを迎えられるよう

今はまじつ

そしたらきつと

みんなの

僕ら

道はたのしいとおもつよ。

## 色と色（後書き）

下手で済みません

読んでくれた方ありがとうございます。

またいつか書くとき読んでくれるとうれしいです！

うた

いろんな歌詞  
いろんな歌

それはきっと歌手が

綴った物語

それは

うれしいもの？

悲しいもの？

幸せなもの？

つらいもの？

いろんな物語を秘めている

それは

聞く人や

歌う人によって

変わっていく

恋の歌

感謝の歌

感動の歌

いろんな種類があるけど

やっぱりそれは

聞く人

歌う人に

よって変わっていく

辛いことを吹き飛ばす歌

思い出に残る歌

嬉しい気持ちにさせる歌

誰かと誰か

もしくは

みんなを幸せに

してくれる歌

元気よく歌う歌詞もある

静かに歌う歌もある

いろんな歌や

いろんな歌声で

いろんな気持ちを

僕らに

教えてくれる

伝えてくれる

それが唄かな

祭り〜忘れたくない〜(前書き)

昨日はぼくらの東中祭。

祭り〜忘れたくない〜

『祭りの後こそ気を引き締めなければいけないのだ』

祭り

それは

神を祀るもの  
人々で楽しむもの  
昔から伝わってきたもの

いろんな理由でやる

でも最後は

きつと  
みんな楽しんでいる  
みんな笑っている  
みんな喜んで

きつと

それは

忘れたくないいいこと  
一生忘れたくない物語

に

なるかもしれない

たとえば

学園祭

体育祭

そして修学旅行

緑の学校

卒業式

(これは学生にとっての？その先はわかんないけど………)

忘れたくない……

そんな風に思っちゃうことがきつとある

でもね

確かに忘れないのは大切

だけどね

だから何でもやっていいわけじゃないんだ

たとえば

学園祭とかだったら

そのために

自分のものを学校においていくとかさ

「なにがこまるの？」

といわれると結構困るけどさ

そついつのはさ、なんか

まだケジメがつけれてないっていう感じだからさ

『おもしろくて

おもしろくて

しかたなくて

どうしようもないくらい

まだ終わりたくない』って思ったことない？

そんなときはこんな言葉を思い出して

ひとつ！

『本当に大切なことは、

頭じゃなくて魂に刻みこなれている』・・・だからきつと

大丈夫！

もうひとつ！

』

』

「ここは空欄だから自分で考えるべし！

祭り〜忘れたくない〜(後書き)

キミは何を入れる？

なにかのために(前書き)

今日思ったこと

なにかのために

『何かのためにがんばる』

たとえば

勉強      スポーツ      恋

いろいろあるよな

途中やめたくも

途中逃げ出したくもなる

でもね

何かのためにがんばっている『ヤッ』っていいと思う

それはもちろん

親      教師      友だちが

言うからじゃなくて

いいと思うんだ

たとえそれがどんな結果になろうと

いい思っただ

『何かのため』

それが

特に

自分がやりたいことや

自分が好きなこと

もちろんそれ以外にもきつとあるかな？

その結果がどんなであつても

そのあとにそいつに

『おつかれ』

もしくは

『おし  
』って

いってあげて

そんな一言で

『やってきてよかった』って

思っちゃう人もいるからさ

だから

---

<あなたなら何という台詞を入れますか？>

なにかのために（後書き）

ちゃんと伝わったかな？

正直言ってもものすごく難しいです。

頭の中ではちゃんと

感情としてあるのに

言葉にしようとするとう崩れていちゃう

この物語は自分の場合

スポーツをやっているときに思ったことです。

実際にそのスポーツでの結果としては

ほぼ最悪の記録でした。

そのためにたくさんの練習をしてきていたから

『もちろんそこで最高の記録を出すぞ』

と、生き込んでいたからかもしれません。

だから独りでしょげていたら

たった一言かけてくれました。

「おつ」と

たったそれだけで

今までやってきた練習のやりがいがあったなと思ってしまっくらい  
うれしかった一言でした。

(ちなみにそいつがオレにとって

目標とか追いつきたいヤツもしくは並びたいヤツ

とにかく大切なヤツ

だったからだろうけどねw)

p s / 『おつ』 = 『おつかね』の略です。

## 自分探し

『本当の自分』

本心って何？

感情って何？

自分って誰？

そんな『問題』がある。

難しい答えは知らないけど

難しい答えは必要じゃないけど

そんなことを知りたい。

今の『自分』は

本物？

偽物？

ちゃんと『本心』でやっているの？

少し前に戻る

『自分』というやつが小学5年のとき  
僕は

誰とも関わらない      誰とも関わりたくない

そんなやつだった。

そして今の僕は

そのときとは違う

『自分』でいた

それは

誰かと関わっている

誰かと関わるのが面白い

そんな「自分」がいる

「オレは今も猫被っているんだよ」といったら

「ふ〜んじゃあ本当のお前ってどんなやつ?」  
と、聞かれた。

そのときオレは  
考えた でも、思いつかなかった。

だから

「さあ? よくわかんねーな」

と答えていたんだ。

そのとき本当に

『自分のことが分からなくなった』

そのときから本当に

『自分探しを始めたんだ』

周りには飽きられたけど、これが一番の答えだと思っ。

『いつかわかるさ、きつとね』

それでいいじゃんか

いつか見つかるかもしれない

いつまでも見つからないかもしれない

今もまだ続く

『自分探しの旅』

**自分探し（後書き）**

自問自答でも答えが出てこない。

伝えたいことちゃんと伝われ！

と、願います。

中学での恋々自分々(巻)

『キミに出会えてよかった』

心からそう思うよ

それが

たとえ

どんなに

ごねほご

報われない

救われない

喜べない

そんな

出会いだとしても

キミにであつたからこそ

今の僕がいるんだ

もしも

キミに出会えなかったら

どんな『自分』になっていたのか

それは

分からないけど

今ほどは輝いていない気がするな………

たとえ

この思いが決して

叶わない

想いだとしても

いつまでも

絶対に

必ず

忘れたくないな

キミはボクと一緒にいた

一瞬 一時 一分 一秒を

キミは既に忘れてしまったかな？

でも

ぼくは

いつまでも

忘れないよ

だってそれはね

今はそれだけが

『自分の証』

だから・・・

自由っていったい何？(前書き)

少し残酷描写ある？ない？

よく分からないぐらいかな？

自由っていったい何？

『自由？』 笑っちゃうな。

みんないろんなものに縛られて

みんなだからこそ『解放』『自由』を求めて

死んでいつちまうだ。

何が『自由』だ！

僕は様々なものに囚われ続けている。

本当の自由なんて無いだろ！

『本当の自由』

そんな言葉があるからいけないんだ。

そんな意味があるからいけないんだ。

でも

そんな考えばかりしている俺でも

たった一つだけ信じたい

言葉があるんだよ？

それはな

「」  
”本当に自由な時間”よりも”本当に幸せな時間”のほうがいい”ってことだよ。

どんな自分になりたい？

オレはどんな『自分』になりたいのだろうか？

自問自答　自分に問いかけてみる。

まず思いつく『人物』は今の自分の『証』という感じのやつだ。

でも、

それは違う　確かにといつのようになりたいと思ったことはあるけど、

『本当』にそいつみたいになりたいとは思えない。

なぜなら

オレはその『自分とは違う』ところに惹かれていったのだから

次に思いついた『人物』は今この街に引っ越してきて多分最初にオレに話しかけてきた変わり者だ。

でも、

やっぱりそいつのようになりたいとは思えない。

なぜなら

そいつの真似をするのは毎日が非常に疲れそうだからだ（笑い）。

次に思いつくのは親父だ。

なぜ思いついたのかは知らない

けど、

ただひとついえることもある。

それは

一番今のオレに近い存在かもしれない。

親父は大嫌いだ。

でも、

根本的なところで似ていると唯一思える存在なんだからだろうか？

ただ

親父みたいにはなりたくないと思う……………

では「どんな自分」になりたいのかな？

小さい頃に描いていた『なりたい自分』ってのはどっつたるっ？

何を描き何を思ったのか今はもう思い出せない

けど

きつと

オレならこう考えたのかな？

それは今と同じ考えであって

『だれでもない だれにも似てない

そんな”自分”だけの”自分”になりたい』って答え  
ていたのかな？

どんな自分になりたい？（後書き）

みんなはどんな自分を捜しますか？

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3493o/>

---

奇跡×軌跡

2011年10月8日02時49分発行